

CREW HEALTH ADVICE

带状疱疹への理解と乗組員への潜在的な影響

带状疱疹(Herpes zoster、shinglesともいう)は、世界中で数百万人が感染しているウイルス感染症です。成人の約4人に1人が生涯のうちに感染を経験すると言われています¹。水疱瘡(小児期に多く発症)として知られている水痘带状疱疹ウイルス(varicella zoster virus:VZV)の再活性化によって発症します。带状疱疹は痛みを伴い、身体の免疫力が低下します。

UK P&Iクラブは、乗組員が带状疱疹を発症し、船舶の離路、医療送還および海外での治療を余儀なくされた事例を把握しています(一見関係の無い症状が現れます)。船上にて早期に特定し対処をすることで不快感が軽減され、悪化を防ぎ、治療にかかるコストを軽減することができます。

最近のケーススタディの概要は以下の通りです：

- 乗組員は当初、眼にもものもらいができ、口と鼻の周りに水疱が生まれました。乗組員は本国送還までの10日間、入院治療を受けました。

- 乗組員は当初、額の変色と左顔面の炎症が生じました。遠隔医療サービスを受診したところ、できるだけ早い診察が勧められました。この炎症は乗組員の視力に影響を及ぼしたため、早急な医療処置が必要でした。

- 乗務員は皮膚炎、額の変色、右のこめかみと乳様突起(耳の後ろ)に炎症が生じました。遠隔医療サービスにより症状をモニターしたところ(経過観察が重要だと判断したため)、带状疱疹に該当する症状と診断されました。下船後、炎症は拡大し、角膜炎を引き起こしました。

原因と起因

英国保健安全保障庁(UK HAS)²は、水疱瘡に感染するとVZVウイルスが体内に侵入し、特徴的な発疹と発熱を引き起こすと説明しています。通常、ウイルスは免疫によって排除されますが、このウイルスは神経細胞の中に何年、何十年も潜伏していることがあります。加齢、免疫力の低下、ストレスなどによるウイルスの再活性化により、带状疱疹が発症します。水疱瘡のウイルスは伝染し発症する可能性がありますが、带状疱疹は他人から伝染し、発症するものではありません。

症状

带状疱疹の最も一般的な初期徴候は、皮膚の患部(皮膚分節)の異常な感覚と痛みです。前駆症状では頭痛や羞明(しゅうめい、光による目の痛み)、倦怠感が見られ、まれに発熱がある場合があります。数日から数週間以内に、身体の片側へ水疱状(液体で満たされた水疱)の発疹が皮膚に分布して出現します。一般的に患部は強い痛み、皮膚の感覚異常(皮膚のピリピリ感、チクチク感、しびれ)、強いかゆみを伴います。発疹は通常2~4週間続きます。³

分析とアドバイス

発症、症状について詳しい病歴を記録し、痛みの程度を評価します。乗組員の過去の病歴を確認します(免疫不全になっていないか?)。



CREW HEALTH ADVICE

遠隔医療サービスにより、治療の選択肢のアドバイスを仰ぎます。

英国国立医療技術評価機構(NICE)⁴ による帯状疱疹のアドバイスと管理方法については以下の通りです：

- 水疱瘡にかかったことがない人との接触は避ける。(得に妊婦、免疫不全者、生後1カ月未満の乳児など)
- 衣類やタオルの共用は避ける。
- こまめな手洗いをを行う。
- 皮膚への刺激を減らすため、ゆったりとした服を着用する。
- 発疹がまだ湿っている間は、傷口を覆う。
- 軟膏や絆創膏は炎症を引き起こし、発疹の治癒を遅らせる可能性があるため使用を避ける。
- 発疹を清潔に保ち、乾燥させることで、細菌による重感染のリスクを減らす。発熱した場合細菌感染の可能性があるため、医師による診断を受ける必要がある。
- 発疹が滲みで覆うことができない場合は、悪化しないよう安静にする必要がある。傷口が乾いているまたは発疹を覆っている場合は、特段安静にする必要はない。

治療

帯状疱疹の悪化を防ぎ、治療にかかるコストを軽減するためには、早期の診断と治療が重要です。アシクロビル、バラシクロビル、ファミシクロビルなどの抗ウイルス薬は、症状の悪化を防ぎ、有症状期間を短くする効果があります。世界保健機関(WHO)は、発疹発症後72時間以内のできるだけ早い段階より経口抗ウイルス薬による治療を開始するよう推奨しています。帯状疱疹の合併症がなければ、治療は通常7日間行われます。⁵ 痛みの管理も治療には必要不可欠です。市販の鎮痛剤や処方薬の使用により、痛みを和らげることができます。重症の場合は、遠隔医療サービスが介入の上、入院を勧められることがあります。

予防

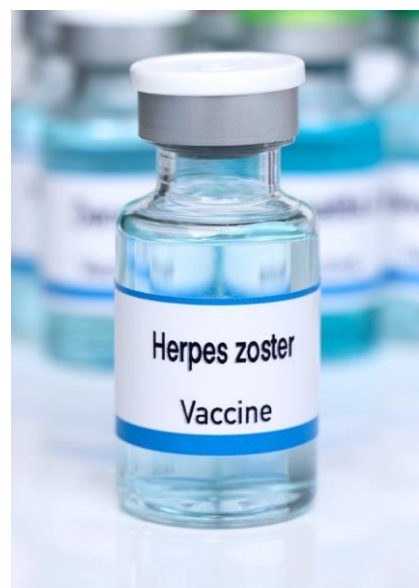
健康的なライフスタイルの維持、ストレスの管理、免疫力を強化することが帯状疱疹の予防につながります。ワクチン接種は、帯状疱疹の発症リスクを低減するだけでなく、発症した場合の重症度を軽減することもできます。ゾスタバックスは帯状疱疹および帯状疱疹に関連する帯状疱疹後神経痛(PHN)の予防に効果があります。ゾスタバックスは、50歳以上を対象に予防接種が推奨されています。⁶

結論

帯状疱疹とは、過去に水疱瘡に罹患したことのある人に発症しうる痛みと不快感を伴う皮膚疾患です。早期に対処することで、病状を管理し合併症のリスク軽減に違いが生まれます。そのためには、原因、症状、治療の選択肢を理解することが重要です。帯状疱疹を発症した乗組員に対し適切な対応を行うためには、船内における独自の対応が必要になります。予防法について最新の情報を入手し、健康的な生活習慣を心掛けることで帯状疱疹の発症を防ぐことができます。

出典

1. 水痘帯状疱疹ウイルスの管理と制御に関する疫学[1993年Miller E, Marshall R and Vurdien JE 著] - 医微生物学による考察 4: 222-30
https://journals.lww.com/revmedmicrobiol/Abstract/1993/10000/Epidemiology_outcome_and_control_of_6.aspx
(accessed: 08/11/23)
2. 2013年英国健康安全保障局 - 予防接種グリーンブック第34章：水痘
https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1056198/Green_Book_Chapter_34_v3_0.pdf
(accessed: 03/11/23)
3. 2013年英国健康安全保障局 - 予防接種グリーンブック第28a章：帯状疱疹(herpes zoster)
https://assets.publishing.service.gov.uk/media/6123b097e90e07053ec5e3eb/Green_book_of_immunisation_28a_Shingles.pdf
(accessed: 03/11/23)
4. 2023年英国国立医療技術評価機構(NICE) - 帯状疱疹のシナリオ：管理
<https://cks.nice.org.uk/topics/shingles/management/management/#information-advice>
(accessed: 03/11/23)
5. 2014年世界保健機関 - 背景報告書、帯状疱疹ワクチン、水痘・帯状疱疹ワクチンに関する背景を検討するためのワーキンググループ
https://terrance.who.int/mediacentre/data/sage/SAGE_Docs_Ppt_Apr2014/6_session_varicella_herpes_zoster/Apr2014_session6_herpes_zoster.pdf
(accessed: 08/11/23)
6. 2023年電子医薬品集 - ゾスタバックスワクチン; 医療従事者向け製品概要. 臨床特定事項、治療指標
<https://www.medicines.org.uk/emc/product/6101/smpc#about-medicine>
(accessed: 08/11/23)



執筆者：Venetia Lawrence氏(理学士、ポストグラジュエートディプロマ取得、Oceans Marine Ltd. オペレーション・ダイレクター)

本アドバイスは、イギリス、アイルランド、ヨーロッパ全域で総合的なコンサルティングとサーベイサービスを専門に提供しているVL Oceans Marine社との協力によりまとめたものです。

CREW HEALTH ADVICE

当クラブは 1996 年、乗組員の疾病クレームの増加と診療所の説明責任の欠如を理由に、乗組員健康スキームをいち早く開始しました。1996 年以來、クルー・ヘルス・プログラムは当クラブの主要なロスプリベンションの取り組みの一つとなっています。このプログラムの目的は、既往症や持病に起因する乗組員の疾病クレームの件数と金額を減らすことです。これらの基礎疾患は、船員の勤務適性に影響を与えることが多く、その船員個人の健康だけでなく、他の船員の乗船中の安全も脅かす可能性があります。

Sophia Bullard (ソフィア・ブラード) クルー・ヘルス・プログラム ディレクター

直通: +44 20 7204 2417
Email: sophia.bullard@thomasmiller.com



ソフィアは 1992 年にトーマスマラーへ入社し、1994年からクレームハンドラーとして主にフランス、スペインのメンバーを担当。2004 年にクルー・ヘルス・プログラムの責任者となった。数多くの診療所審査に携わり、標準診断項目と診療所ガイドラインを作成した。承認クリニック施設の倍増、メンバーを 4 倍に増やすなど、大きな成長と発展を牽引してきた。トーマスマラー取締役

Saidul Alom (サイドゥル・アロム) クルー・ヘルス・フィー アドミニストレーター

直通: +44 20 7204 2968
Email: saidul.alom@thomasmiller.com



サイドゥルアロムは 2004 年に欧州サービスチームからクルー・ヘルス・プログラムに加わった。サイドゥルは同プログラムへの事務サポートを担当し、財務請求書関係や診療所への支払いに関して、認可診療所とのやり取りを担当。

Stuart Last (スチュアート・ラスト) クルー・ヘルス・プログラム メンバー・アドミニストレーター

直通: +44 20 7204 2413
Email: stuart.last@thomasmiller.com



スチュアートは 1998 年、UK P&I クラブのギリシャメンバー担当のクレームトレーナーとしてトーマスマラーに入社。2005 年 4 月、チーム・アドミニストレーターとしてクルー・ヘルスに加わった。スチュアートは、メンバー加入の調整とクリニックの承認プロセスの管理を担当。